

平成22年度研修実施計画

区分	事業区分			No.	研修名	受講対象施設等	受講対象者	参加人数	研修日数 ×実施回数	テーマ	目的	内容(予定)	備考	実施時期 (予定)
	自主 事業	指定 管理	原案 関係											
階層別研修	新任職員研修	○		1	社会福祉施設・社協新任職員研修	公立及び社会福祉法人立の社会福祉施設、市町村社協、介護保険事業者	職務経験2年未満の者	1,050	2日(150名)×7回	組織人としてのあり方	社会人としての基本的な役割を学ぶ。	「職場生活の基本動作」「コミュニケーションの基本」「チームワーク」など		22年5月
			○	2	新任職員フォローアップ研修	同上	職務経験2～3年目の者	200	2日(100名)×2回	新任職員研修終了者のフォローアップ	離職防止、職場定着、職務意欲の向上を図る。	「組織活動」「経験交流、意見交換(指導的職員によるアドバイス)」「アドバイザーによる実践報告」など		23年1月
	中堅職員	○		3	社会福祉施設・社協中堅職員研修	同上	職務経験2年以上で主任、係長等の役職にない者	400	2日(80名)×5回	中堅職員の役割	中堅職員が組織の中で期待される役割について学ぶ。	「組織活動」「チームワークとリーダーシップ」など		22年6月
			○	4	中堅職員フォローアップ研修(H21リーダー職員研修名称改)【新規】	同上	職務経験概ね5年以上で、部門のリーダーを担う者	200	2日(100名)×2回	中堅リーダー職員の役割	中堅リーダー職員が組織の中で期待される役割について学ぶ。	「中堅リーダー職員の役割行動」「問題解決思考」「チームワーク」「リーダーシップ」「職員の指導・育成」など		22年8月
	指導的職員	○		5	社会福祉施設・社協指導的職員研修	同上	主任、係長、事務長等の役職にある者	250	2日(50名)×5回	指導的職員の役割	職員指導や、上司や他機関との連絡調整等の期待される役割について学ぶ。	「指導的職員の役割行動」「職場の問題解決」「これからの福祉人材育成」「挑戦目標と実行プランの作成」など		22年7月
			○	6	施設運営管理者養成研修(リーダー養成研修)【新規】	同上	施設等の運営管理を将来的に予定する者	100	3日(50名)×2回	運営管理者としての心構え	健全な社会福祉事業の運営について学ぶ。	「安定した経営基盤作り」「利用者サービスの向上」「人材育成」など		22年8月
	運営管理職員	○		7	社会福祉施設・社協運営管理職員研修	同上	施設長、副施設長、事務長等の役職にある者	250	2日(50名)×5回	運営管理職員の役割	管理者が組織の中で担うべき役割について学ぶ。	「管理職員の役割行動」「活力ある職場づくり」「課題形成」「管理職員の自己革新」など		22年9月
福祉従事者研修	マネジメント研修	○		8	経営・マネジメント研修Ⅰ(経営一般)	公立及び社会福祉法人立の社会福祉施設、市町村社協、介護保険事業者	経営・マネジメントに携わる役職員	90	1日(90名)×1回	人材の確保から養成にいたるマネジメントのあり方	深刻な人手不足の時代において求められる人材の確保から養成にいたる一貫性のある人づくりの視点でのマネジメントのあり方について考える。	「社会福祉法人および福祉人材をとりまく環境について」「経営におよぼされる能力と役割」		22年12月
			○	9	経営・マネジメント研修Ⅱ(人事・労務管理研修)	同上	人事・労務管理に携わる役職員	90	1日(90名)×1回	基本的な人事・労務管理とその意義	人事・労務管理に関する基本的知識の習得。	「人事・労務の意義」「社会福祉施設における労務管理の実態と課題」「就業規則」		22年11月
			○	10	経営・マネジメント研修Ⅲ(財務管理研修)	同上	財務管理に携わる役職員	90	1日(90名)×1回	基本的な財務管理の役割と業務過程	財務管理の重要性と基本的な実務を理解する。	「貸借対照表および事業活動収支計算書の基礎知識」「複式簿記の構造と仕分け処理の基本」「会計帳簿と計算書類との関係」		22年8月
			○	11	情報管理研修	同上	情報管理に携わる役職員	90	1日(90名)×1回	社会福祉組織における情報マネジメント	施設において情報のマネジメントはどうかを考へる。	「利用者支援向上のための情報マネジメント」		22年7月
			○	12	メンタルヘルスに関する研修【新規】	同上	人事・労務管理に携わる役職員	80	1日(80名)×1回	職員の健康管理とメンタルヘルス対策	職場の健康管理を進め、職員の定着や意欲向上を図るための手法等について学ぶ。	「職場のメンタルヘルスの重要性」「職場環境把握と改善」「職員の健康管理とメンタルヘルス対策」など		22年9月
		キーパーソン養成研修		○	13	スーパーバイザー養成研修	同上	スーパーバイザーの役割にある職員	40	5日(40名)×1回	スーパーバイザーの養成	スーパービジョンを実践するとともに、組織内でスーパービジョンの実施体制を整備する推進者となる人材を養成する。	「スーパービジョンの基礎理解」「倫理要領、行動規範の理解」「個別、グループスーパービジョンの実践」	
	○		14	職場研修担当者養成研修	同上	職場における研修担当者	50	4日(50名)×1回	職場研修推進者の養成	施設における職場研修のあり方について理解する。	「職場研修の考え方と推進方法」「研修ニーズ分析と年度計画の策定」「OJT活性化策、OFF-JTによる職場研修の推進」		22年6月	
	○		15	接遇推進者養成研修	同上	左記の所属職員(接遇推進者)	100	2日(100名)×1回	職場内接遇推進者の養成	施設における接遇の向上を図るための推進のあり方を理解する。	「接遇サービスマインドとスキル」「接遇推進者の役割」「福祉接遇サービス応用向上トレーニング」		22年6月	
援助技術研修		○	16	社会福祉援助技術研修(集団援助技術)	公立及び社会福祉法人立の社会福祉施設、市町村社協、介護保険事業者	左記施設の職員	40	2日(40名)×1回	集団援助技術(グループワーク)	社会福祉援助技術の中で最も基礎的な集団援助技術を習得する。	「集団援助技術の基本的理解」「集団援助の方法と技術」		22年9月	
		○	17	社会福祉援助技術研修(個別援助技術)	同上	同上	40	3日(40名)×1回	個別援助技術(ケースワーク)	社会福祉援助技術の中で最も基礎的な個別援助技術を習得する。	「個別援助技術の基本的理解」「個別援助の方法と技術」		22年8月	
		○	18	コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修	在宅支援の専門職を置く組織	介護支援専門員、ケースワーカー、保健師、包括センター職員、在宅職員、社協職員、障害者ケアマネジャー等	40	3日(40名)×1回	要援護者を支える地域社会の構築	地域で起こる様々な課題に対し、専門職だけではなく、地域の方で取り組むための方法などを学ぶ。	「地域福祉の推進とCSW実践の関係」「CSW実践の理論」「地域で孤立した家族をどう地域で支えるか」	埼玉県地域福祉支援計画による施策展開と協働して実施する。	22年10月	
福祉従事者研修	職種別研修	市町村社協	○	19	市町村社協職員研修	市町村社協	市町村社協の役職員(現業職を含む)	50	2日(50名)×1回	社協についての基礎的な理解と専門性の向上	社協固有の専門性、役割について学び、社協の機能強化を図る	「社会福祉協議会の組織と活動に関する基本的理解」「実践から考える自分たちの社協の専門性」		22年4月

平成22年度研修実施計画

区分	事業区分			No.	研修名	受講対象施設等	受講対象者	参加人数	研修日数 ×実施回数	テーマ	目的	内容(予定)	備考	実施時期 (予定)
	自主 事業	指定 管理	県委託 関係											
福祉従事者研修	職種別研修	介護支援専門員	○	20	介護支援専門員実務・更新・再研修		介護支援専門員実務研究受講試験の合格者	1,950	講義 3日(1,000名×4回) 演習 4日(140名×15回)	ケアマネジメントの手法や視点の習得	介護保険制度の円滑な運営に資するために、専門的知識及び技能を有する介護支援専門員の養成を図る。	「介護保険制度の理念」「介護支援サービスの基本」「介護支援サービスの基礎技術」「要介護認定の仕組み」「介護支援サービスの展開技術」	介護支援専門員証の有効期間(5年)の満了する介護支援専門員(実務未経験者)に対する更新研修と、有効期間を過ぎた方に対する再研修を兼ねる。	22年4月、7月、23年1月
			○	21	介護支援専門員実務従事者基礎研修		介護支援専門員実務従事者で実務就業後1年未満の方	140	5日(140名)×1回	介護支援専門員の実務能力向上	実務研修では修得できない幅広いケアマネジメント業務に関する知識を得る。	「ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理」「ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方」「ケアマネジメントの点検演習」「ケアマネジメント演習講評」「研修を振替っての意見交換、ネットワーク」		23年1月
			○	22	介護支援専門員専門研修Ⅰ		介護支援専門員実務従事者であって、就業後6ヶ月以上の方	750	講義・演習 5日(750名×1回)	介護支援専門員の専門性向上	定期的な研修を義務づけ、介護支援専門員の一定の質の確保を図る。	「介護保険制度論」「介護支援専門員の倫理」「ケアマネジメントプロセスとその基本的考え方」「保健に最福祉の基礎理解」「サービスの活用と連携」「対人個別援助技術」	介護支援専門員証の有効期間(5年)の満了する介護支援専門員(実務経験者)に対する更新研修を兼ねる。	22年9月
			○	23	介護支援専門員専門研修Ⅱ		介護支援専門員実務従事者であって、就業後3年以上の方	850	講義 1日(850名×2回) 演習 2日(140名×7回)	介護支援専門員の専門性向上	定期的な研修を義務づけ、介護支援専門員の一定の質の確保を図る。	「介護支援専門員特別講義」「介護支援専門員の課題」「居宅介護支援事例研究」「施設介護支援事例研究」「居宅介護支援演習」「施設介護支援演習」	同上	22年10月
			○	24	介護支援専門員スキルアップ研修		現任の介護支援専門員	130	1日(130名)×1回	介護支援専門員の資質の向上	現任の介護支援専門員のスキルアップを図る。	「多職種連携によるケアプラン作成」	現在実施している介護支援専門員関連研修の企画会議メンバーの協力を得て、体系的な研修として実施する。	23年1月
	職種別研修	施設・事業所	○	25	訪問介護員現任研修	訪問介護事業者、居宅介護事業者等	サービス提供責任者等及び候補者	150	3日(150名)×1回	訪問介護サービスの質的向上	サービス提供責任者等に必要知識(精神障害理解等を含む)、技術を習得させる事により、サービスの適切な提供及び質の向上を図る。	「サービス提供のプロセスと管理」「訪問介護計画の作成演習」「精神障害及び認知症の理解」		22年11月
			○	26	事業所内保育施設保育従事者研修	事業所内保育施設(認可外保育施設を含む)	左記所属の保育従事者等	200	1日(200名)×1回	保育技術の向上	保育技術の向上	「保育施設の安全管理」「保育に役立つ手作りおもちゃ」		22年9月
	地域福祉推進研修	民生委員・児童委員	○	27	民生委員・児童委員協議会会長研修		民児協会長	328	1日(328名)×1回	民児協組織の運営強化	地域福祉推進の視点から、民児協に対する今日的期待と会長の役割を理解する。	「民生委員が現在おかれている状況や課題、今後のあり方」「単位民児協会長の役割」「民児協運営に必要なリーダーシップ」		22年9月
			○	28	民生委員・児童委員協議会副会長研修		民児協副会長	328	1日(164名)×2回	同上	地域福祉推進の視点から、民児協に対する今日的期待と副会長の役割を理解する。	「民生委員の置かれている状況や今後の在り方」「地域における単位民児協副会長の役割を考える」		22年9月
			○	29	民生委員・児童委員協議会新任副会長研修		単位民児協副会長としての経験が1年未満の者	328	1日(164名)×2回	同上	地域福祉推進の視点から、民児協に対する今日的期待と副会長の役割を理解する。	「民生委員の置かれている状況や今後の在り方」「単位民児協内の副会長の役割を考える」		23年1月
○			30	中堅民生委員・児童委員研修Ⅰ		会長、副会長を除く任期2期目以上の民生委員・児童委員	850	1日(210名)×4回	民生委員・児童委員活動の強化	地域福祉推進の視点から、中堅の民生委員・児童委員として必要知識を獲得する。	中堅の民生委員・児童委員に求められる重要な課題をテーマとする。 (例:個人情報保護、災害時支援など)		22年4月	
○			31	中堅民生委員・児童委員研修Ⅱ		会長、副会長を除く任期2期目以上の民生委員・児童委員	850	1日(210名)×4回	同上	同上	中堅の民生委員・児童委員に求められる重要な課題をテーマとする。 (例:悪質商法対応、子育て支援・児童虐待防止など)		22年5月	
○			32	現任主任児童委員研修		任期2期以上の主任児童委員	328	1日(110名)×3回	主任児童委員活動の強化	地域福祉推進の視点から主任児童委員としての技術を向上する。	「児童を取り巻く環境の変化と主任児童委員の役割」「関係機関との関わり方」		22年8月	
○			33	新任民生委員・児童委員研修		新任民生委員・児童委員	3,000	2日(750名)×4回	民生委員・児童委員活動に関する基本的理解	地域福祉推進の視点から、民生委員・児童委員の基本的な職務を理解する。	「民生委員・児童委員の役割と活動への期待」「相談支援活動のポイント」「民生委員・児童委員の業務」「民生委員・児童委員活動の実際」		22年12月	
○			34	新任主任児童委員研修		新任主任児童委員	200	2日(200名)×1回	主任児童委員活動に関する基本的理解	地域福祉推進の視点から、主任児童委員の基本的な職務を理解する。	「児童委員・主任児童委員の役割と活動への期待」「主任児童委員と児童関係機関との連携」「主任児童委員活動の実際」		23年1月	

平成22年度研修実施計画

区分	事業区分 自主 指定 事業	指定 管理	関係 指定	No.	研修名	受講対象施設等	受講対象者	参加 人数	研修日数 ×実施回数	テーマ	目的	内容(予定)	備考	実施時期 (予定)	
地域福祉推進研修	活動者・県民		○		35	地域福祉活動に関する研修	ボランティアグループ、NPO、民生委員・児童委員など	同左	100	1日(100名)×1回	地域における介護ネットワーク	住み慣れた地域で長く暮らし続けるために、地域の住民や介護事業所等が互いに連携し、介護ネットワークづくりを推進していくための方法を学ぶ。	「地域における介護ネットワークづくりやその実践」		22年11月
課題別研修(実践研修)	高齢者コース		○		36	認知症に関する研修	公立及び社会福祉法人立の社会福祉施設、市町村社協、介護保険事業者	左記の所属職員	350	1日(350名)×1回	認知症の理解	認知症に関する医学的基礎知識と援助者として姿勢について理解する。	「認知症の医学的な理解」「認知症の人と暮らす家族の思い」「家族支援について」		22年10月
			○		37	認知症介護専門研修	同上	同上	100	2日(100名)×1回	認知症介護に係るリーダー的人材の養成	認知症介護のプロとしての技術、知識をさらに深めるとともに、認知症介護の専門職として活躍できるリーダー的人材を養成する。	「最新の認知症の医学」「認知症と薬」「アセスメントとケアプラン」「事例検討(ターミナルケアの実践)」「誤愛討議(認知症高齢者の介護再点検)」「症状の理解」「食事、栄養」「チームケア(地域、家族との関係)」		22年11月
	障害者コース		○		38	障害者の自立支援に関する研修	身体障害者更生支援施設、知的障害者支援施設、精神障害者社会復帰施設等、障害児施設、市町村社協	同上	100	1日(100名)×1回	障害者の自立支援のあり方	障害のある人の自立とは何かを考えるとともに自立した地域生活を支える支援のあり方について考える。	「障害のある人の自立とは」「自立した地域生活を支える上で必要な支援のあり方について」		22年12月
			○		39	発達障害に関する研修	同上	同上	100	1日(100名)×1回	発達障害の理解	様々な発達障害についての特徴・支援方法の理解を深める。	「発達障害の基本的理解」「支援方策の検討」		22年6月
			○		40	発達障害フォローアップ研修	同上	同上	120	1日(60名)×2回	発達障害者支援者の専門性向上	幼児期支援と成年期支援に分け、発達障害者研修修了者のフォローアップを図る。	「年齢別に見る発達障害の理解」「事例検討」		22年9月
	児童・子育て支援コース		○		41	子育て支援に関する研修	乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、児童家庭センター、児童自立支援施設、児童自立生活援助事業、保育所、市町村社協、民生委員・児童委員・主任児童委員	同上	100	1日(100名)×1回	子育て支援における地域づくり	地域において子育て支援に携わる者同士の連携をどう構築するかについて理解を深める。	「子育て支援ネットワークの重要性」		22年8月
			○		42	児童虐待防止に関する研修	同上	同上	100	1日(100名)×1回	児童虐待防止における福祉関係者の役割	地域において児童虐待防止に携わる者としての支援方策、関係者同士の連携をどう構築するかについて理解を深める。	「児童虐待防止における支援方策の視点」		22年12月
	危機管理コース		○		43	感染症に関する研修	公立及び社会福祉法人立の社会福祉施設、市町村社協、介護保険事業者	同上	400	1日(400名)×1回	感染症の基本的な理解	感染症に対する予防対策、および衛生管理について学ぶ。	「感染症の基礎知識」「細菌による感染症」「ウイルスによる感染症」		22年6月
			○		44	防災に関する研修	同上	同上	100	1日(100名)×1回	地域で発生した災害時における福祉施設の役割	福祉施設に求められる地域防災における果たすべき役割について理解する。	「災害時の応急対策」「平常時の防災活動」「災害時のための地域との連携作りについて」		22年7月
	業務応用コース		○		45	多様な処遇・療法に関する研修	同上	同上	100	1日(100名)×1回	臨床美術、アートセラピーの理解	臨床美術、アートセラピーの活用法を知ることによってケアの幅を広げる。	「臨床美術、アートセラピーの基礎知識」「臨床美術の実践」		22年8月
		○		46	福祉マインドに関する研修	同上	同上	100	1日(100名)×1回	福祉マインド(福祉観)の醸成	福祉に対する基本的視点などを修得(再認識)するとともに、やりがいの創造などにつなげる。	利用者と向き合う中で、自分自身と向き合い、自身の福祉マインドを醸成する。		22年10月	